

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

雛飾りとつるし雛で、
大型商業施設と商店街、
市民をつなぐ
入間市商工会女性部(埼玉県)



入間市商工会女性部では、「雛飾り
展示と手作りつるし雛」事業を通し、
地域密着の社会貢献活動に積極的に参
加・協力をしています。
「女性部は伝統文化でもある雛飾りを
やったらどうだ」。この事業は当時の
会長の一言から、2011年に駅前の
大型百貨店に雛飾りの展示を始めたも
のです。第1回は7段飾りの雛段をご
ざの上にとだ並べるだけの質素なもの
でしたが、翌年からは自分たちでつる

し雛を作成し、飾るようになりました。
年を追うごとに、帯に花を施した作品
や、着物生地で作った千支の動物な
ど、1年間かけてさまざまな展示作品
をつくり、年々たくさんさんの作品を飾れ
るようになりました。

また近隣商店街では、自宅のお雛様
を店頭に飾るなどの協力をしていただ
き、2015年からは保育園児のお雛
様の作品を展示したり、部員がつくっ
たつるし雛を貸し出して飾ってもらっ

自助・共助のための
防災セミナーを開催
阿波市商工会女性部(徳島県)



セミナーで学習をしている様子



上・左下/雛飾りとつるし雛の展示の様子 右下/つるし雛づくりの講習会に参加した女性部員たち

たり、商店街全体がお雛様で彩られるようになり大変賑やかになりました。この事業を毎年行うことにより、市民の方が「着なくなった着物を使ってください」と会場に持ち込んでくれることもあります。

2022年からは、年に一度行っている「つるし雛作り講習会」に参加して作成した部員全員の作品を飾るようになり、さらに女性部の一体感も得られています。

この事業も2023年で13回目となりました。これは部長以下、部員が楽しみながらつるし雛をつくり続けてきたこと、百貨店や商店街の協力があったことが継続できた要因です。おかげで、毎年の恒例として市民の皆さんに楽しみにしていただいています。これからも地元商店や部員の事業所のコミュニケーション活性化につなげていきたいと思っています。

徳島県中央北部の吉野川北岸に位置する4つの町が合併して誕生した阿波市は、人口約3万4000人、温暖な気候や山河に広がる美しく恵まれた自然による農産物や、国の天然記念物「阿波の土柱」が自慢です。四国八十八ヶ所霊場の4つの札所をはじめとする名所旧跡も点在しています。

私たち女性部では、コロナの影響でおもな活動が中止となったため、コロナ禍でもできる活動はないかと考え、セミナーによる勉強会を企画しました。そして、国が推進している「防災」をメインテーマにし、かつ女性の視点を生かした内容の活動を行うことにしました。

それは、「段ボールトイレ」です。セミナーでは我がまちの防災の必要性



トイレの中の凝固剤を試している様子

や避難の方法はもちろんのこと、とくに避難所生活におけるトイレ不足について学び、自分たちが思っていたよりも深刻な問題であることに気づかされました。

そこで、地域の商売人である私たちがだからこそ、自助（一人ひとりが自ら取り組むこと）のみならず、共助（地域や身近にいる人どうしが一緒に取り組むこと）も可能にするため、まずは女性部員の事業所から順に、段ボールトイレの普及活動を行っています。

いざというときの助け合いの輪が広がるよう、今後も普及・推進活動を進めていきます。



段ボールトイレの組み立て方などを学ぶ女性部員